

(令和 2 (2020) 年度第 1 回企業局経営評価委員会説明資料)

# 令和元(2019)年度 企業局経営戦略 進捗状況説明資料

## 〔目次〕

電気事業	.....	1
水道事業	.....	9
工業用水道事業	.....	17
用地造成事業	.....	25
施設管理事業		
県民ゴルフ場事業	.....	33
賃貸ビル事業	.....	41
経営指標の算出方法	.....	49
達成度評価の方法	.....	50

栃木県企業局

# 電氣事業

## 令和元(2019)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名：電気事業

(単位：百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

			a)計画額	予算額	b)決算額	b-a	備 考
収益的 収 支	収 入	料金収入	2,558	1,968	1,986	▲ 572	・料金収入は、供給電力量の増により予算額を上回るも、新規発電所建設の遅れにより計画額より減
		その他収入	67	108	75	8	
		(計)	2,625	2,076	2,061	▲ 564	
	支 出	人件費	455	461	394	▲ 61	・人件費は、職員構成の若年化により減
		減価償却費	484	440	432	▲ 52	
		修繕費	444	202	162	▲ 282	・修繕費は、修繕引当金取崩しにより減
		その他支出	910	923	747	▲ 163	
		(計)	2,293	2,026	1,735	▲ 558	
	経 常 損 益		332	50	326	▲ 6	
	資本的 収 支	収 入	借入金	455	350	426	▲ 29
その他収入			4	1	1	▲ 3	
(計)			459	351	427	▲ 32	
支 出		建設改良費	1,439	648	1,167	▲ 272	・建設改良費は、工事の進捗状況に合わせて調整したため減
		借入金償還金	189	190	189	0	
		その他支出	12	45	42	30	
		(計)	1,640	883	1,398	▲ 242	
差 引		▲ 1,181	▲ 532	▲ 971	210		

## 電気事業 経営戦略達成状況

### 1 経営面に係る評価

	経営資本 営業 利益率	営業収支 比率	経常収支 比率	自己資本 構成比率	流動比率	借入金 残高	剰余金 (欠損金) 残高
	経営資本で、どの程度営業利益を上げたかで、高いほど収益性が良好	営業活動の能力で、高いほど収益性が良好	経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	計画値より下回れば良好	計画値より上回れば良好
	(単位: %)				(単位: 百万円)		
A: 計画値	/	115.4	115	/	/	2,012	684
B: 予算値	0.5	103.3	102.5	81.1	547.9	1,608	215
C: 決算値	2.2	119.2	118.8	80.3	851.4	1,876	1,076
達成率	440.0	103.3	103.3	99.0	155.4	106.8	157.3
達成度評価	A	A	A	B	A	A	A
目標達成 又は未達成 の要因等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支出の減等により、経常収支比率及び剰余金残高は計画値を上回った。</li> <li>・ 自己資本比率は、企業債の借入等により予算値を下回った。</li> </ul>						

※当該年度の計画値(額)又は予算値(額)と決算概算値(額)を比較して、達成度を評価

※剰余金(欠損金)残高は、剰余金の処分は考慮しない。

### 2 事業面に係る評価

#### (1) 計画業務量に係る達成状況

	年間供給電力量 (単位: MWh)	目標達成又は未達成の要因等
A: 計画値	253,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川流況に恵まれたこと等により、供給電力量は計画値を上回った。</li> </ul>
予算値	229,953	
B: 決算値	265,326	
達成率(%)	104.9%	
達成度評価	A	

※当該年度の計画値と決算概算値を比較して、達成度を評価

(2) 電気事業の実施計画に係る取組実績等

項目	取組	令和元(2019)年度の実績
電力の安定供給	○川治第一発電所設備更新工事	▶主要変圧器更新工事(H30～R元)
	○足尾発電所設備更新工事	▶庚申ダム予備発電装置等更新工事
	○木の俣発電所設備更新工事	—
	○足尾発電所内部点検	▶主要機器内部点検修繕工事(R元～R2)
	○風見発電所全面改修(FIT認定)	▶実施設計業務委託(H29～R元) ▶主要機器製作据付工事(H30～R5) ▶水圧鉄管更新工事(R元～R4) ▶発電所本館建替工事(R元～R4)
	○深山発電所全面改修	▶R5年度全面改修に向けた事業計画の検討 ▶R2年度に発注する実施設計業務委託の準備
	○保安訓練・防災訓練	▶ダムを対象とした洪水対応演習(5/10実施) ▶事故故障発生時の対応訓練(12/3、2/12実施) ▶発電所、ダムの油流出対応訓練(8/27、12/20実施)
○その他	▶板室発電所計器用変成器等交換工事	
水力発電の推進	○五十里発電所建設(FIT認定)	▶主要機器製作据付工事(H27～R2) ▶遠方監視制御装置据付工事(H29～R元) ▶受変電室建屋工事(H30～R元)
	○小百川発電所建設(FIT認定)	▶主要機器製作据付工事(H28～R2) ▶土木設備工事(R元～R2) ▶取水口設備設置工事(R元～R2)
	○風見発電所全面改修(再掲)(FIT認定)	▶実施設計業務委託(H29～R元) ▶主要機器製作据付工事(H30～R5) ▶水圧鉄管更新工事(R元～R4) ▶発電所本館建替工事(R元～R4)
	○新規開発の事業化検討	▶水力発電所の新規開発可能地点調査(14箇所)
経基盤の強化	○固定価格買取制度の適用等による安定した収入の確保	▶公募型プロポーザル方式による次期売電先の選定手続
	○その他	▶「とちぎふるさと電気」の販売推進
人育	材成 ○技術承継、研修の充実、資格取得支援	▶内部研修の実施・外部研修への派遣等
環対	境策 ○高効率・省エネ機器の導入	▶今市発電管理事務所照明器具修繕工事(照明のLED化)

備 考	令和2(2020)年度の取組予定
	▶取水口ゲート巻揚装置更新工事(R2~R3)
	—
	▶発電機更新工事(R2~R3)
	▶主要機器内部点検修繕工事(R元~R2)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27.2.13に固定価格買取制度の認定</li> <li>・H30年度~R4年度で全面改修</li> <li>・R2.10.19から発電を停止して現地工事に着手</li> <li>・R5.4に運転再開予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶主要機器製作据付工事(H30~R5)</li> <li>▶水圧鉄管更新工事(R元~R4)</li> <li>▶発電所本館建替工事(R元~R4)</li> <li>▶分水工ゲート盤等更新工事</li> <li>▶全面改修工事監理業務委託(R2~R5)</li> </ul>
	▶主要機器実施設計業務委託
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ダムを対象とした洪水対応演習(5/12実施)</li> <li>▶事故故障発生時の対応訓練</li> <li>▶発電所、ダムの油流出対応訓練</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶川治第一発電所所内遮断機内部点検修繕工事</li> <li>▶深山発電所遮断器内部点検修繕工事</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2.5.22運転開始</li> </ul>	▶主要機器製作据付工事(H27~R2)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年中に運転開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶主要機器製作据付工事(H28~R2)</li> <li>▶土木設備工事(R元~R2)</li> <li>▶取水口設備設置工事(R元~R2)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27.2.13に固定価格買取制度の認定</li> <li>・H30年度~R4年度で全面改修</li> <li>・R2.10.19から発電を停止して現地工事に着手予定</li> <li>・R5.4に運転再開予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶主要機器製作据付工事(H30~R5)</li> <li>▶水圧鉄管更新工事(R元~R4)</li> <li>▶発電所本館建替工事(R元~R4)</li> <li>▶分水工ゲート盤等更新工事</li> <li>▶全面改修工事監理業務委託(R2~R5)</li> </ul>
	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京電力エネジーパートナー(株)と売電契約</li> <li>・契約期間は6年間(R2.4.1~R8.3.31)</li> <li>・供給単価:9.76円/kWh(R元は8.35円/kWh)</li> </ul>	▶新たな売電契約に基づく料金収入の確保
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに2社(2事業所)と契約を締結</li> <li>・全体契約数は10社(12事業所)</li> </ul>	▶「とちぎふるさと電気」に新規販売メニュー(ハーフ及びサマー)を追加し販売促進
	▶内部研修の実施・外部研修への派遣等
	▶板室発電所本館窓修繕工事(内窓の設置)

自己評価等						
1 経営面に係る評価 ・自己資本構成比率以外A評価となった。  2 事業面に係る評価 (1) 計画業務量に係る達成状況 ・年間供給電力量は、計画量を上回りA評価となった。  (2) 実施計画に係る取組実績等 ・五十里発電所は国土交通省の五十里ダム堰堤改良工事との調整により、また小百川発電所は水圧管路敷設工法等の見直しにより、工事の遅れが生じたが、その他の取組は、ほぼ計画どおり実施した。 ・次期電力供給先選定において公募型プロポーザル方式を導入し、前年度を上回る売電収入の確保と環境保全に繋がる契約を締結した。						達成度 評価
						A
評価委員会の評価等						
・計画値を上回る経常収支比率と年間供給電力量を達成できたことは評価できる。 ・公募型プロポーザル方式による売電先選定について、より有利な契約を締結できたことは評価できる。 ・とちぎふるさと電気の販売実績も着実に増加している。						達成度 評価
						A
	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	
自己評価	A	A	A	A		
評価委員会の評価	A	A	A	A		

※当該年度の計画(予算)内容と取組実績等を比較して、達成度を評価

今後の取組課題・改善点等	
・新型コロナウイルス感染症拡大下においても電力を安定供給できる体制を確保する。 ・風見発電所の全面改修を着実に推進するなど、長期的な視点での施設改修を実施し、安定した料金収入を確保する。 ・得られた収益を活用した地域貢献の拡充を検討する。	

○ 経営指標に係る達成状況(電気事業)

(単位:%)

		平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
経営資本 営業 利益率	予 算 値		0.3	0.7	0.5	0.5	
	決 算 値	1.2	1.3	1.7	2	2.2	
	達成度評価		A	A	A	A	
営業収支 比率	計 画 値		102.1	110.2	110.8	115.4	113.5
	予 算 値		102.1	105.1	104.1	103.3	
	決 算 値	110.6	111.4	113.8	118.0	119.2	
	達成度評価		A	A	A	A	
経常収支 比率	計 画 値		100.5	108.7	109.7	115.0	113.1
	予 算 値		100.5	103.7	103.1	102.5	
	決 算 値	107.5	109.2	112.4	116.7	118.8	
	達成度評価		A	A	A	A	
自己資本 構成比率	予 算 値		83.1	79.9	77.8	81.1	
	決 算 値	83.4	83.9	84.2	80.8	80.3	
	達成度評価		A	A	A	B	
流動比率	予 算 値		862.2	890.9	647.0	547.9	
	決 算 値	756.4	814.1	787.9	793.7	851.4	
	達成度評価		B	C	A	A	

(単位:百万円)

借入金 残高	計 画 額		1,366	1,863	1,746	2,012	2,394
	予 算 額		1,366	1,914	2,202	1,608	
	決 算 額	1,360	1,207	1,018	1,639	1,876	
	達成度評価		A	A	A	A	
剰余金 (欠損金) 残高	計 画 額		7	172	352	684	1,001
	予 算 額		7	102	165	215	
	決 算 額		165	431	750	1,076	
	達成度評価		A	A	A	A	

○ 計画業務量に係る達成状況

(単位:MWh)

年間供給 電力量	計 画 値		248,000	253,000	254,000	253,000	229,000
	予 算 値		247,506	229,871	233,040	229,953	
	実 績 値	210,586	186,261	229,105	209,844	265,326	
	達成度評価		C	B	C	A	

○ 収支の状況(電気事業)

(単位:百万円)

				平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
収益的 収支	収入	料金 収入	計 画 額		2,000	1,997	1,965	2,558	2,671
			予 算 額	1,906	2,000	2,034	2,047	1,968	
			決 算 額	1,845	1,904	2,028	1,963	1,986	
		その他 収入	計 画 額		67	67	67	67	67
			予 算 額	67	67	58	60	108	
			決 算 額	51	49	62	69	75	
	支出	人件費	計 画 額		474	441	452	455	472
			予 算 額	476	474	454	433	461	
			決 算 額	468	450	439	398	394	
		減価 償却費	計 画 額		442	438	438	484	498
			予 算 額	496	442	441	451	440	
			決 算 額	479	436	438	436	432	
		修繕費	計 画 額		290	256	244	444	335
			予 算 額	173	290	330	259	202	
			決 算 額	164	173	278	181	162	
その他 支出		計 画 額		854	764	718	910	1,116	
		予 算 額	736	854	794	901	958		
		決 算 額	653	729	704	726	747		
経常損益		計 画 額		7	165	180	332	317	
		予 算 額	92	7	73	63	50		
		決 算 額	132	165	231	291	326		
資本的 収支	収入	借入金	計 画 額		221	702	68	455	566
			予 算 額	0	221	771	615	350	
			決 算 額	0	79	16	806	426	
		その他 収入	計 画 額		4	4	3	4	4
			予 算 額	70	4	1	1	1	
			決 算 額	52	0	1	0	1	
	支出	建設 改良費	計 画 額		637	1,392	1,082	1,439	799
			予 算 額	378	637	1,385	1,302	648	
			決 算 額	301	329	323	1,046	1,167	
		借入 償還金	計 画 額		233	205	185	189	184
			予 算 額	300	233	206	185	190	
			決 算 額	300	232	205	185	189	
		その他 支出	計 画 額		12	12	12	12	12
			予 算 額	32	12	9	4	45	
			決 算 額	27	10	7	2	42	
差引		計 画 額		▲ 657	▲ 903	▲ 1,208	▲ 1,181	▲ 425	
		予 算 額	▲ 640	▲ 657	▲ 828	▲ 875	▲ 532		
		決 算 額	▲ 576	▲ 541	▲ 518	▲ 427	▲ 971		

# 水道事業

# 令和元(2019)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名:水道事業

(単位:百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

			a)計画額	予算額	b)決算額	b-a	備考
収益的 収 支	収 入	料金収入	1,843	1,845	1,859	16	・収入は概ね計画額どおり
		その他収入	75	136	57	▲ 18	
		(計)	1,918	1,981	1,916	▲ 2	
	支 出	人件費	324	307	224	▲ 100	・人件費は、退職給付費の減等により減  ・その他支出は、主に委託料の減等により減
		減価償却費	664	653	634	▲ 30	
		修繕費	83	176	144	61	
		その他支出	765	776	574	▲ 191	
		(計)	1,836	1,912	1,576	▲ 260	
	経 常 損 益		82	69	340	258	
	資本的 収 支	収 入	借入金	0	0	0	0
その他収入			1	1	0	▲ 1	
(計)			1	1	0	▲ 1	
支 出		建設改良費	924	1,552	1,061	137	・建設改良費は、工事の進捗状況に合わせて平成30年度予算を繰越したため増
		借入金償還金	131	133	131	0	
		その他支出	8	8	0	▲ 8	
		(計)	1,063	1,693	1,192	129	
差 引		▲ 1,062	▲ 1,692	▲ 1,192	▲ 130		

## 水道事業 経営戦略達成状況

### 1 経営面に係る評価

	経営資本 営業 利益率	営業収支 比率	経常収支 比率	自己資本 構成比率	流動比率	借入金 残高	剰余金 (欠損金) 残高
	経営資本で、どの程度営業利益を上げたかで、高いほど収益性が良好	営業活動の能力で、高いほど収益性が良好	経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	計画値より下回れば良好	計画値より上回れば良好
	(単位: %)					(単位: 百万円)	
A: 計画値		102.8	104.5			602	494
B: 予算値	0.2	101.8	103.6	87.4	1,364.5	604	439
C: 決算値	1.6	119.5	121.6	86.3	1,211.4	606	1,419
達成率(%)	800.0	116.2	116.4	98.7	88.8	99.3	287.2
達成度評価	A	A	A	B	C	B	A
目標達成又は未達成の要因等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支出の減等により経常利益が計画額を上回ったため、経常収支比率及び剰余金残高が計画値を上回った。</li> <li>・ 未払金により流動負債が増加したため、自己資本構成比率及び流動比率は予算値を下回った。</li> <li>・ 計画的な借入金償還により、借入金残高はほぼ計画値どおり。</li> </ul>						

※当該年度の計画値(額)又は予算値(額)と決算概算値(額)を比較して、達成度を評価

※剰余金(欠損金)残高は、剰余金の処分は考慮しない。

### 2 事業面に係る評価

#### (1) 計画業務量に係る達成状況

	北那須水道 年間供給水量 (単位: 千m <sup>3</sup> )	鬼怒水道 年間供給水量 (単位: 千m <sup>3</sup> )	目標達成又は未達成の要因等
A: 計画値	11,300	11,000	・ ほぼ計画値どおりの供給水量を確保した。
予算値	11,280	11,075	
B: 決算値	11,337	11,178	
達成率(%)	100.3	101.6	
達成度評価	A	A	

※当該年度の計画値と決算概算値を比較して、達成度を評価

(2) 水道事業の実施計画に係る取組実績等

項目	取組	令和元(2019)年度の取組実績
安全で安心な水道水の供給	○設備更新等の計画に基づく更新工事等の実施 設備更新等の計画の見直し (3年毎)	▶取水口及び折戸調整池操作制御盤更新工事(北那須) ▶中央監視制御装置更新工事(H30～R2、鬼怒)
	○水質監視体制、施設防護対策等の充実	
	▶機械警備実施 (北那須、鬼怒)	▶水道施設機械警備業務委託(H28～R2、北那須:場外施設) ▶浄水場内機械警備業務委託(H29～R3、北那須) ▶浄水場等機械警備業務委託(H29～R3、鬼怒)
	▶ろ過池覆蓋化実施(鬼怒)	▶ろ過池覆蓋設置工事(H30～R元、鬼怒)
	水安全計画の見直し (3年毎)	▶水安全計画レビュー作業部会(10月、3月)
○水質検査計画の作成・公表、検査結果公表、精度管理	▶水質検査計画作成・HP公表(3月) ▶水質検査結果HP公表(毎月) ▶水道水質精度管理実施(6月分析結果提出、2月結果公表)	
災害に強く、強靱な施設と体制づくり、水質事故等の対応強化	○設備更新等の計画に基づく更新工事等の実施 設備更新等の計画の見直し (3年毎)	—
	○耐震化への取組	▶管路施設耐震化等検討会(8月、12月、1月、3月) ▶管路施設耐震(簡易)診断業務委託(鬼怒)
	▶管路劣化診断	—
	○災害想定訓練の実施	▶防災訓練を実施(4月、5月:北那須)、(6月:鬼怒) ▶受水市町との共同防災訓練(11月:北那須)(3月:鬼怒)
	○応急復旧体制の強化	▶水道事業等BCPIに係る庁内検討会を実施(7月、11月、1月、2月)
○災害対応強化	▶管路施設GISシステム構築業務委託(H30～R元、北那須、鬼怒)	
経基盤の強化	○適正な料金設定	—
人育材成	○技術継承、研修の充実、資格取得支援	▶日本水道協会主催の技術継承研修等の研修会に参加(研修等:25回、61名) ▶危険物取扱者等資格取得を支援(15名) ▶OJT実施による技術継承(10月、11月、12月、2月)
環境対	○高効率・省エネルギー機器の導入	▶照明のLED化を実施
	○浄土発生土の資源化利用	▶浄水発生土の有効利用(上・工水合計;1,212t)

備 考	令和2(2020)年度の取組予定
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶無停電電源設備等更新工事(R2～R3、北那須)</li> <li>▶No.1排泥池汚泥掻寄機更新工事(R2～R3、北那須)</li> <li>▶中央監視制御装置更新工事(H30～R2、鬼怒)</li> <li>▶設備更新等長期計画策定検討会による計画の見直し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶水道施設機械警備業務委託(H28～R2、北那須:場外施設)</li> <li>▶浄水場内機械警備業務委託(H29～R3、北那須)</li> <li>▶浄水場等機械警備業務委託(H29～R3、鬼怒)</li> </ul>
<p>・鬼怒水道のろ過池覆蓋化を実施(H30～R元、北那須はH27に実施済)</p>	—
	—
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶水質検査計画作成・HP公表</li> <li>▶水質検査結果HP公表</li> <li>▶水道水質精度管理実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶設備更新等長期計画策定検討会による計画の見直し(再掲)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶管路施設耐震化等検討会</li> <li>▶管路施設耐震(簡易)診断業務委託(北那須)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶埋設管路劣化調査業務委託(北那須)</li> <li>▶送水管路劣化診断等業務委託(鬼怒)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶防災訓練を実施</li> <li>▶共同防災訓練(北那須、鬼怒)を実施</li> <li>▶水道事業等新型インフルエンザ対策訓練を実施</li> </ul>
	—
	—
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶鬼怒水道用水供給事業の令和4年4月以降の料金見直しを令和2年～令和3年度に予定</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶日本水道協会主催の技術継承研修等の研修会に参加</li> <li>▶資格取得の支援</li> <li>▶OJT実施による技術継承</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶薬品沈澱池等照明設備更新工事(北那須)</li> <li>▶受水地電灯設備更新工事(鬼怒)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶照明のLED化を実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶埋め戻し材として再利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶浄水発生土の有効利用</li> </ul>

自己評価等						
1 経営面に係る評価 ・ 経営資本営業利益率等の4指標がA評価、自己資本構成比率及び借入金残高がB評価、流動比率がC評価となった。					達成度評価	
2 事業面に係る評価 (1) 計画業務量に係る達成状況 ・ 北那須水道及び鬼怒水道の年間供給水量がともにA評価となった。					A	
(2) 実施計画に係る取組実績等 ・ 施設防護対策としての濾過池覆蓋化が完了した。 ・ 業務継続計画を整理し、応急復旧体制の強化を図った。						
評価委員会の評価等						
・ 計画値を上回る経常利益と年間供給水量を達成できたことは評価できる。 ・ 令和元年度の取組は、ほぼ実施計画どおりに進捗している。					達成度評価	
					A	
	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	
自己評価	A	A	A	A		
評価委員会の評価	A	A	A	A		

※当該年度の計画(予算)内容と取組実績等を比較して、達成度を評価

今後の取組課題・改善点等	
・安全で安心な水道水の安定供給を図るため、引き続き、計画的な設備更新工事等の実施や災害に強く強靱な施設と体制づくりに取り組む。 ・適正な料金設定等による経営基盤の強化や人材育成、技術継承、環境対策に取り組む。 ・民間活用等による業務効率化の検討を進める。	

○ 経営指標に係る達成状況(水道事業)

(単位:%)

		平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
経営資本 営業 利益率	予 算 値		0.6	0.9	0.1	0.2	
	決 算 値	2.4	1.9	1.6	1.3	1.6	
	達成度評価		A	A	A	A	
営業収支 比率	計 画 値		106.1	108.6	104.5	102.8	104.4
	予 算 値		106.0	110.1	100.9	101.8	
	決 算 値	131.5	123.9	119.3	115.3	119.5	
	達成度評価		A	A	A	A	
経常収支 比率	計 画 値		107.3	109.9	106.0	104.5	106.2
	予 算 値		107.4	111.6	102.3	103.6	
	決 算 値	135.5	128.5	121.6	118.3	121.6	
	達成度評価		A	A	A	A	
自己資本 構成比率	予 算 値		82.5	84.2	85.3	87.4	
	決 算 値	83.3	84.3	84.4	84.4	86.3	
	達成度評価		A	A	A	B	
流動比率	予 算 値		1,222.9	1,390.7	989.2	1,364.5	
	決 算 値	3,165.8	3,127.2	1,716.9	3,351.5	1,211.4	
	達成度評価		A	A	A	C	

(単位:百万円)

借入金 残高	計 画 額		1,024	872	733	602	477
	予 算 額		1,024	874	735	604	
	決 算 額	1,207	1,027	876	737	606	
	達成度評価		B	B	B	B	
剰余金 (欠損金) 残高	計 画 額		131	303	412	494	606
	予 算 額		131	328	370	439	
	決 算 額		434	781	1,079	1419	
	達成度評価		A	A	A	A	

○ 計画業務量に係る達成状況

(単位:千m<sup>3</sup>)

北那須 水道	計 画 値		11,300	11,300	11,300	11,300	11,300
	予 算 値		11,297	11,297	11,297	11,280	
	実 績 値	11,356	11,378	11,481	11,314	11,337	
	達成度評価		A	A	A	A	
鬼 怒 水道	計 画 値		10,900	11,000	11,000	11,000	11,000
	予 算 値		10,904	11,045	11,045	11,075	
	実 績 値	11,018	11,002	11,096	11,155	11,178	
	達成度評価		A	A	A	A	

○ 収支の状況(水道事業)

(単位:百万円)

				平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
収益的 収支	収入	料金 収入	計 画 額		1,838	1,838	1,838	1,843	1,838
			予 算 額	1,843	1,838	1,844	1,844	1,845	
			決 算 額	1,850	1,853	1,863	1,855	1859	
		その他 収入	計 画 額		93	78	78	75	75
			予 算 額	93	93	85	76	136	
			決 算 額	125	115	89	81	57	
	支出	人件費	計 画 額		324	324	324	324	324
			予 算 額	303	324	269	297	307	
			決 算 額	276	332	255	266	224	
		減価 償却費	計 画 額		545	569	599	664	715
			予 算 額	499	545	527	609	653	
			決 算 額	486	486	553	592	634	
		修繕費	計 画 額	計 画 額	190	126	129	83	84
			予 算 額	190	190	160	160	176	
			決 算 額	127	166	160	160	144	
その他 支出		計 画 額		741	725	755	765	678	
		予 算 額	721	741	776	812	776		
		決 算 額	569	549	637	620	574		
経常損益		計 画 額		131	172	109	82	112	
		予 算 額	223	131	197	42	69		
		決 算 額	517	434	347	298	340		
資本的 収支	収入	借入金	計 画 額		0	0	0	0	0
			予 算 額	0	0	0	0	0	
			決 算 額	0	0	0	0	0	
		その他 収入	計 画 額		1	1	1	1	1
	予 算 額		1	1	1	1	1		
	決 算 額		0	0	0	0	0		
	支出	建設 改良費	計 画 額		1,259	903	1,356	924	272
			予 算 額	1,545	1,259	986	1,542	1552	
			決 算 額	1,253	1,233	660	977	1061	
		借入金 償還金	計 画 額		181	152	139	131	125
			予 算 額	220	181	152	140	133	
			決 算 額	219	180	151	139	131	
		その他 支出	計 画 額		8	8	8	8	8
			予 算 額	8	8	8	8	8	
			決 算 額	0	0	0	0	0	
差引		計 画 額		▲ 1,447	▲ 1,062	▲ 1,502	▲ 1,062	▲ 404	
		予 算 額	▲ 1,772	▲ 1,447	▲ 1,145	▲ 1,689	▲ 1,692		
		決 算 額	▲ 1,472	▲ 1,413	▲ 811	▲ 1,116	▲ 1,192		

# 工業用水道事業

## 令和元(2019)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名:工業用水道事業

(単位:百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

			a)計画額	予算額	b)決算額	b-a	備 考
収益的 収 支	収 入	料金収入	508	496	519	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 料金収入は、ほぼ計画額どおり</li> <li>・ その他収入は、受託事業の実施により増</li> </ul>
		その他収入	121	309	174	53	
		(計)	629	805	693	64	
	支 出	人件費	53	49	49	▲ 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他支出は、受託事業の実施により増</li> </ul>
		減価償却費	222	220	219	▲ 3	
		修繕費	26	49	40	14	
		その他支出	230	413	259	29	
		(計)	531	731	567	36	
	経 常 損 益		98	74	126	28	
	資本的 収 支	収 入	借入金	0	0	0	0
その他収入			10	10	10	0	
(計)			10	10	10	0	
支 出		建設改良費	198	92	123	▲ 75	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設改良費は、中央監視制御装置更新工事の繰越しにより減</li> </ul>
		借入金償還金	62	83	82	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 借入金償還金は、一般会計への償還額の増により増</li> </ul>
		その他支出	4	4	0	▲ 4	
		(計)	264	179	205	▲ 59	
差 引		▲ 254	▲ 169	▲ 195	59		

## 工業用水道事業 経営戦略達成状況

### 1 経営面に係る評価

	経営資本 営業 利益率	営業収支 比率	経常収支 比率	自己資本 構成比率	流動比率	借入金 残高	剰余金 (欠損金) 残高
	経営資本で、どの程度営業利益を上げたかで、高いほど収益性が良好	営業活動の能力で、高いほど収益性が良好	経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	計画値より下回れば良好	計画値より上回れば良好
	(単位: %)					(単位: 百万円)	
A: 計画値		98.3	118.5			2,284	403
B: 予算値	▲ 0.8	91.5	112.5	87.1	1050.3	2,223	258
C: 決算値	0.2	102.7	122.2	86.6	823.4	2,225	502
達成率(%)	225.0	104.5	103.1	99.4	78.4	102.6	124.6
達成度評価	A	A	A	B	C	A	A
目標達成又は未達成の要因等	<ul style="list-style-type: none"> <li>支出の減等により経常利益が計画額を上回ったため、経常収支比率及び剰余金残高は計画値を上回った。</li> <li>計画的な借入金償還により、借入金残高は計画値を下回った。</li> <li>未払金により流動負債が増加したため、自己資本構成比率及び流動比率は予算値を下回った。</li> </ul>						

※当該年度の計画値(額)又は予算値(額)と決算概算値(額)を比較して、達成度を評価

※剰余金(欠損金)残高は、剰余金の処分は考慮しない。

### 2 事業面に係る評価

#### (1) 計画業務量に係る達成状況

	年間基本供給水量 (単位: 千m <sup>3</sup> )	年間実供給水量 (単位: 千m <sup>3</sup> )	目標達成又は未達成の要因等
A: 計画値	9,300	5,700	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間基本供給水量は、最大5%の減量を認めたため計画値を下回った。</li> </ul>
予算値	8,984	5,651	
B: 決算値	8,984	5,825	
達成率(%)	96.6	102.2	
達成度評価	B	A	

※当該年度の計画値と決算概算値を比較して、達成度を評価

(2) 工業用水道事業の実施計画に係る取組実績等

項目	取組	令和元(2019)年度の取組実績
工業用水の安定供給	○設備更新等の計画に基づく更新工事等の実施 設備更新等の計画の見直し(3年毎)	▶中央監視制御装置更新工事(H30～R2、鬼怒)
	○水質検査結果等の情報発信	▶水質検査結果HP公表
	○施設防護対策等の充実	▶浄水場等機械警備業務委託(H29～R3、鬼怒)
新規需要の開拓	○工業用水ニーズの情報収集	▶需要拡大検討班会議を開催(8月) ▶受水企業訪問(1～2月) ▶関係機関との情報交換(3月)
	○新たな受水企業の誘致活動	▶キリンビール工場跡地PR(チラシ配布:1,710枚) ▶新規企業への営業活動 ▶芳賀第2工業団地配水管詳細設計業務委託(H30～R元)
災害に強く、強靱な施設と体制づくり、水質事故等の対応強化	○設備更新等の計画に基づく更新工事等の実施 設備更新等の計画の見直し(3年毎)	—
	○耐震化への取組	▶管路施設耐震化等検討会を実施(8月、12月、1月、3月)
	○災害想定訓練の実施	▶防災訓練を実施(6月)
	○応急復旧体制の強化	▶水道事業等BCPIに係る庁内検討会を実施(7月、11月、1月、2月)
	○災害対応強化	▶管路施設GISシステム構築業務委託(H30年度～R元年度、北那須、鬼怒)
経基盤の強化	○適正な料金設定	▶現行料金制度を維持した上で、受水企業の定着を図るため、一部、基本供給水量の減量を実施(料金適用期間:H29年4月～R4年3月)
人育材成	○技術継承、研修の充実、資格取得支援	▶日本工業用水道協会主催の技術継承研修等の研修会に参加(4回、5名) ▶酸素欠乏危険作業主任者等の資格取得を支援(2名) ▶OJT実施による技術継承(10月、11月、12月、2月)
環境対	○高効率・省エネルギー機器の導入	—
	○浄水発生土の資源化利用	▶浄水発生土の有効利用(上・工水合計;1,212t)

備 考	令和2(2020)年度の取組予定
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶中央監視制御装置更新工事(H30～R2、鬼怒)</li> <li>▶設備更新等長期計画策定検討会による計画の見直し</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶水質検査結果HP公表</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶浄水場等機械警備業務委託(H29～R3、鬼怒)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶需要拡大検討班会議を開催</li> <li>▶受水企業訪問</li> <li>▶関係機関との情報交換</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域整備課の営業活動時にパンフレット配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶キリンビール跡地進出企業への工業用水PR</li> <li>▶新規企業への営業活動(芳賀第2工業団地を含む)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶設備更新等長期計画策定検討会による計画の見直し(再掲)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶管路施設耐震化等検討会</li> <li>▶管路施設耐震(簡易)診断業務委託</li> <li>▶配水管路劣化診断等業務委託</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶防災訓練を実施</li> <li>▶受水企業との共同防災訓練を実施</li> <li>▶水道事業等新型インフルエンザ対策訓練を実施</li> </ul>
	—
	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定的経費を回収する基本料金(基本供給水量)と変動的経費(使用水量)を回収する使用料金で構成される二部料金制度</li> <li>・基本料金単価:49.39円/m<sup>3</sup>、使用料金単価:8.96円/m<sup>3</sup> (単一料金換算55.15円/m<sup>3</sup>)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶鬼怒工業用水道事業の令和4年4月以降の料金見直しをR2～3年度に予定</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶日本工業用水道協会主催の技術継承研修等の研修会に参加</li> <li>▶資格取得の支援</li> <li>▶OJT実施による技術継承</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶照明のLED化を実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶埋め戻し材として再利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶浄水発生土の有効利用</li> </ul>

自己評価等						
1 経営面に係る評価 ・ 経営資本営業利益率等の5指標がA評価、自己資本構成比率がB評価、流動比率がC評価となった。					達成度評価	
2 事業面に係る評価 (1) 計画業務量に係る達成状況 ・ 年間供給水量がB評価、年間実供給水量がA評価となった。					A	
(2) 実施計画に係る取組実績等 ・ 芳賀第2工業団地での新規需要開拓に向け、配水管布設の詳細設計業務委託を実施した。 ・ 業務継続計画を整理し、応急復旧体制の強化を図った。						
評価委員会の評価等						
・ 計画値を上回る経常利益を確保したことは評価できる。 ・ 令和元年度の取組は、ほぼ実施計画どおり進捗している。					達成度評価	
					A	
	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	
自己評価	A	B	A	A		
評価委員会の評価	A	B	A	A		

※当該年度の計画(予算)内容と取組実績等を比較して、達成度を評価

今後の取組課題・改善点等	
・安全で安心な工業用水の安定供給を図るため、引き続き、計画的な設備更新工事等の実施や災害に強く強靱な施設と体制づくりに取り組む。 ・受水企業の定着促進とあわせ、新規需要の開拓に取り組む。 ・適正な料金設定等による経営基盤の強化や人材育成、技術継承、環境対策に取り組む。	

○ 経営指標に係る達成状況(工業用水道事業)

(単位:%)

		平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
経営資本 営業 利益率	予 算 値		▲ 1.7	▲ 7.9	▲ 1.0	▲ 0.8	
	決 算 値	2.2	0.4	▲ 6.4	0.1	0.2	
	達成度評価		A	A	A	A	
営業収支 比率	計 画 値		84.7	101.4	99.2	98.3	96.4
	予 算 値		84.7	53.1	90.6	91.5	
	決 算 値	125.2	103.9	59.3	101.2	102.7	
	達成度評価		A	C	A	A	
経常収支 比率	計 画 値		114.7	121.9	119.4	118.5	116.3
	予 算 値		114.7	103.6	111.8	112.5	
	決 算 値	134.3	127.2	112.2	122.5	122.2	
	達成度評価		A	B	A	A	
自己資本 構成比率	予 算 値		85.7	85.8	86.6	87.1	
	決 算 値	85.4	85.9	86.0	86.5	86.6	
	達成度評価		A	A	B	B	
流動比率	予 算 値		832.2	534.3	577.2	1050.3	
	決 算 値	1,047.4	1,288.6	939.4	1,076.1	823.4	
	達成度評価		A	A	A	C	

借入金 残高	計 画 額		2,487	2,415	2,346	2,284	2,225
	予 算 額		2,487	2,395	2,306	2,223	
	決 算 額	2,562	2,489	2,396	2,307	2,225	
	達成度評価		B	A	A	A	
剰余金 (欠損金) 残高	計 画 額		90	203	305	403	491
	予 算 額		90	122	187	258	
	決 算 額		141	248	376	502	
	達成度評価		A	A	A	A	

○ 計画業務量に係る達成状況

(単位:千m<sup>3</sup>)

年間基本 供給水量	計 画 値		9,200	9,200	9,200	9,300	9,200
	予 算 値		9,241	8,828	9,078	8,984	
	実 績 値	9,171	9,243	9,013	8,972	8,984	
	達成度評価		A	B	B	B	
年間実 供給水量	計 画 値		5,700	5,700	5,700	5,700	5,700
	予 算 値		5,674	5,675	5,629	5,651	
	実 績 値	5,766	5,689	5,680	5,936	5,825	
	達成度評価		B	B	A	A	

○ 収支の状況(工業用水道事業)

(単位:百万円)

			平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	
収益的 収支	収入	料金 収入	計 画 額		507	507	507	508	507
			予 算 額	500	507	487	499	496	
			決 算 額	534	531	516	518	519	
		その他 収入	計 画 額		199	121	121	121	121
			予 算 額	128	199	474	121	309	
			決 算 額	120	127	469	116	174	
	支出	人件費	計 画 額		53	53	53	53	53
			予 算 額	60	53	58	53	49	
			決 算 額	51	73	54	46	49	
		減価 償却費	計 画 額		181	201	218	222	246
			予 算 額	179	181	190	220	220	
			決 算 額	178	177	181	221	219	
		修繕費	計 画 額		57	26	26	26	26
			予 算 額	57	57	49	49	49	
			決 算 額	57	57	49	49	40	
その他 支出		計 画 額		325	235	229	230	215	
		予 算 額	291	325	632	233	413		
		決 算 額	201	210	594	202	259		
経常損益		計 画 額		90	113	102	98	88	
		予 算 額	41	90	32	65	74	0	
		決 算 額	167	141	107	116	126		
資本的 収支	収入	借入金	計 画 額		0	0	0	0	0
			予 算 額	0	0	0	0	0	
			決 算 額	0	0	0	0	0	
		その他 収入	計 画 額		20	17	12	10	39
	予 算 額		25	20	14	12	10		
	決 算 額		25	19	15	12	10		
	支出	建設 改良費	計 画 額		220	362	289	198	89
			予 算 額	261	220	362	259	92	
			決 算 額	267	109	325	12	123	
		借入 償還金	計 画 額		74	72	69	62	59
			予 算 額	84	74	93	90	83	
			決 算 額	83	73	92	90	82	
		その他 支出	計 画 額		4	4	4	4	4
			予 算 額	4	4	4	4	4	
			決 算 額	0	0	0	0	0	
差引		計 画 額		▲ 278	▲ 421	▲ 350	▲ 254	▲ 113	
		予 算 額	▲ 324	▲ 278	▲ 445	▲ 341	▲ 169		
		決 算 額	▲ 325	▲ 163	▲ 402	▲ 90	▲ 195		

# 用地造成事業

## 令和元(2019)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名：用地造成事業

(単位：百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

			a)計画額	予算額	b)決算額	b-a	備 考
収益的 収 支	収 入	分譲収益	1,299	1,066	1,016	▲ 283	・分譲収益は、分譲計画を前倒して分譲したため減 ・その他収入は、主にあがた駅南産業団地に係る足利市負担金の経理上の処理のため増
		その他収入	32	1,048	841	809	
		(計)	1,331	2,114	1,857	526	
	支 出	人件費	63	83	62	▲ 1	・分譲原価は、分譲地区が分譲計画と異なったことによる減 ・その他支出は、主にあがた駅南産業団地に係る足利市負担金の経理上の処理のため増
		分譲原価	1,075	836	729	▲ 346	
		その他支出	68	1,100	928	860	
		(計)	1,206	2,019	1,719	513	
経 常 損 益		125	95	138	13		
資本的 収 支	収 入	借入金※	325	832	988	663	・借入金は、芳賀第2工業団地造成分の計上のため増 ・その他収入は、あがた駅南産業団地造成に係る足利市負担金の計上のため増
		その他収入	10	134	133	123	
		(翌年度繰越財源)	0	0	0	0	
		(計)	335	966	1,121	786	
	支 出	建設改良費	325	942	1,142	817	・建設改良費は、主に芳賀第2工業団地造成分の計上のため増 ・借入金償還金は、分譲収益の減による減
		借入金償還金※	1,116	793	744	▲ 372	
		その他支出	5	5	0	▲ 5	
		(計)	1,446	1,740	1,886	440	
	差 引		▲ 1,111	▲ 774	▲ 765	346	

※借入金及び借入金償還金には借換え分を含まず。

## 用地造成事業 経営戦略達成状況

### 1 経営面に係る評価

	経営資本 営業 利益率	営業収支 比率	経常収支 比率	自己資本 構成比率	流動比率	借入金 残高	剰余金 残高
	経営資本で、どの程度営業利益を上げたかで、高いほど収益性が良好	営業活動の能力で、高いほど収益性が良好	経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	計画値より下回れば良好	計画値より上回れば良好
	(単位: %)					(単位: 百万円)	
A: 計画値		113.8	110.4			6,498	▲ 8,695
B: 予算値	▲ 18.1	56.3	109.3	25.4	186.1	6,079	141
C: 決算値	▲ 14.7	60.8	108.1	30.3	172.2	5,242	138
達成率(%)	118.8	53.4	97.9	119.3	92.5	119.3	201.6
達成度評価	A	C	B	A	B	A	A
目標達成又は未達成の要因等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 負担金の経理上の処理のため、営業収支比率は計画値を大きく下回っているが、経常収支比率は100%を超えており、ほぼ計画値どおりとなっている。</li> <li>・ 平成30年度に資本金の額を減少して累積欠損金を解消したため、剰余金残高は計画値を上回った。</li> </ul>						

※当該年度の計画値(額)又は予算値(額)と決算概算値(額)を比較して、達成度を評価

※剰余金(欠損金)残高は、剰余金の処分は考慮しない。

### 2 事業面に係る評価

#### (1) 計画業務量に係る達成状況

	産業団地分譲面積 (単位: ha)	目標達成又は未達成の要因等
A: 計画値	7.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度の方譲面積は計画値を下回ったが、これは過年度に方譲計画を前倒して方譲したためであり、あがた駅南産業団地は予定より2年早く方譲を完了した。</li> </ul>
予算値	6.1	
B: 決算値	5.6	
達成率(%)	76.7	
達成度評価	B	

※当該年度の計画値と決算概算値を比較して、達成度を評価

(2) 用地造成事業の実施計画に係る取組実績等

項目	取組	令和元(2019)年度の実績
魅力ある産業団地の安定的な供給	○あがた駅南産業団地	▶2社に計5.59haを分譲し、完売
	○矢板南産業団地	▶各種メディア(各種展示会、ホームページ等)を活用したPR活動 ▶企業の引き合い情報等を活用した企業訪問等
	○大和田産業団地	
	○宇都宮ゆいの杜産業用地	▶測量等産業用地の整備を実施
	○芳賀第2工業団地	▶実施設計 ▶用地取得 ▶各種メディア(各種展示会、ホームページ等)を活用したPR活動 ▶企業の引き合い情報等を活用した企業訪問等
	○鹿沼市新産業団地 (仮称)鹿沼東工業団地)	▶基礎調査地区に決定(R元.9、調査主体:企業局)
○更なる新産業団地	—	
経営の強化	○地元市町等との適切な役割分担	▶あがた駅南産業団地に係る足利市との協定等に基づく事業執行 ▶芳賀第2工業団地に係る細目協定の締結及び協定等に基づく事業執行
	○金利負担分軽減等	▶分譲収益を活用した企業債の繰上償還等
地域や環境への貢献	—	▶みぶ羽生田産業団地整備に伴う里山林保全活動及び環境モニタリング

備 考	令和2(2020)年度の取組予定
	—
R2.6月から分譲案内開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶各種メディア(各種展示会、新聞広告、インターネット等)を活用したPR活動</li> <li>▶企業へのダイレクトメールや動画配信等を活用したPR活動</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶造成工事等</li> <li>▶各種メディア(各種展示会、新聞広告、インターネット等)を活用したPR活動</li> <li>▶企業へのダイレクトメールや動画配信等を活用したPR活動</li> <li>▶一部予約分譲案内開始</li> </ul>
基礎調査実施中 開発予定面積:24.0ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶事業実施の可否決定</li> <li>▶事業実施地区となった場合には速やかに事業を展開</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶市町における構想段階からの助言・意見交換</li> <li>▶基礎調査地区が決定した場合には速やかに基礎調査に着手</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶芳賀第2工業団地に係る芳賀町との協定等に基づく事業執行</li> <li>▶鹿沼市新産業団地が事業実施地区となった場合には、鹿沼市との協定等の締結と、協定等に基づく事業執行</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶分譲収益を活用した企業債の繰上償還等</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶みぶ羽生田産業団地整備に伴う里山林保全活動及び環境モニタリング</li> </ul>

自己評価等						
<p>1 経営面に係る評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営資本営業利益率等の4指標がA評価、経常収支比率等の2指標がB評価、営業収支比率の指標がC評価となった。</li> <li>営業収支比率は、負担金の経理上の処理による影響のためC評価となったが、経常収支比率は100%を超えており、効率的な企業活動を展開できている。</li> </ul> <p>2 事業面に係る評価</p> <p>(1) 計画業務量に係る達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業団地分譲面積は計画値を下回ったが、分譲計画より早く分譲できたことから、B評価となった。</li> </ul> <p>(2) 実施計画に係る取組実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あがた駅南産業団地(足利市)は、2社に計5.59haを分譲し、完売となった。</li> <li>芳賀第2工業団地(芳賀町)の実施設計及び用地取得を進めたほか、鹿沼市新産業団地の基礎調査に着手した。</li> </ul>					達成度評価	
						B
評価委員会の評価等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>分譲面積や経常収支比率が計画値を下回っているが、これは前倒し分譲の影響によるものであり、やむを得ないものと判断できる。</li> <li>分譲地のストックは減少しているが、新規産業団地の早期造成、早期分譲に努めている。</li> </ul>					達成度評価	
						B
	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	
自己評価	C	B	B	B		
評価委員会の評価	C	B	B	B		

※当該年度の計画(予算)内容と取組実績等を比較して、達成度を評価

今後の取組課題・改善点等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい生活様式に応じた誘致活動を積極的に展開し、分譲中の団地の早期分譲を図る。</li> <li>新規産業団地は、引き続き関係機関との連携を強化し、造成コストの縮減等に取り組みながら、早期造成・早期分譲を図る。</li> <li>市町の新規産業団地構想に積極的に関与し、関係部局等と連携しながら、整備促進に努める。</li> <li>社会経済の変化による企業ニーズの的確な把握に努める。</li> </ul>	

○ 経営指標に係る達成状況(用地造成事業)

(単位:%)

		平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
経営資本 営業 利益率	予 算 値		2.2	6.2	1.0	▲ 18.1	
	決 算 値	2.7	0.7	4.7	1.2	▲ 14.7	
	達成度評価		C	C	A	A	
営業収支 比率	計 画 値		115.5	127.0	130.2	113.8	104.6
	予 算 値		115.5	120.7	103.6	56.3	
	決 算 値	106.5	105.7	113.0	105.3	60.8	
	達成度評価		B	C	C	C	
経常収支 比率	計 画 値		113.2	120.2	125.5	110.4	102.0
	予 算 値		113.2	119.7	102.7	109.3	
	決 算 値	105.8	104.1	112.4	103.8	108.1	
	達成度評価		B	B	C	B	
自己資本 構成比率	予 算 値		21.8	25.8	32.2	25.4	
	決 算 値	16.5	17.5	25.3	32.5	30.3	
	達成度評価		C	B	A	A	
流動比率	予 算 値		106.2	209.5	193.3	186.1	
	決 算 値	152.2	121.6	105.5	163.8	172.2	
	達成度評価		A	C	C	B	

(単位:百万円)

借入金 残高	計 画 額		8,454	8,097	7,289	6,498	5,885
	予 算 額		8,454	7,207	6,078	6,079	
	決 算 額	9,098	8,464	6,795	4,998	5,242	
	達成度評価		B	A	A	A	
剰余金 (欠損金) 残高	計 画 額		▲ 9,228	▲ 9,099	▲ 8,820	▲ 8,695	▲ 8,672
	予 算 額		▲ 9,228	▲ 8,983	▲ 9,138	141	
	決 算 額	▲ 9,471	▲ 9,426	▲ 9,152	46	138	
	達成度評価		B	B	A	A	

○ 計画業務量に係る達成状況

(単位:ha)

産業団地 分譲面積	計 画 値		8.0	5.2	9.3	7.3	7.0
	予 算 値		8.0	15.4	9.0	6.1	
	実 績 値	20.3	6.8	20.7	7.7	5.6	
	達成度評価		C	A	C	B	

○ 収支の状況(用地造成事業)

(単位:百万円)

				平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
収益的 収支	収入	料金 収入	計 画 額		1,187	731	1,340	1,299	1,143
			予 算 額	3,334	1,187	2,257	1,522	1,066	
			決 算 額	3,088	1,062	2,467	1,241	1,016	
		その他 収入	計 画 額		38	36	32	32	32
			予 算 額	48	38	31	20	1,048	
			決 算 額	46	32	25	21	841	
	支出	人件費	計 画 額		63	63	63	63	63
			予 算 額	65	63	61	108	83	
			決 算 額	75	59	57	71	62	
		分譲 原価	計 画 額		926	501	938	1,075	1,028
			予 算 額	2,479	926	1,756	1,316	836	
			決 算 額	2,355	892	1,979	1,081	729	
		その他 支出	計 画 額		96	74	92	68	61
			予 算 額	116	96	97	76	1,100	
			決 算 額	532	100	181	64	928	
経常損益			計 画 額		140	129	279	125	23
			予 算 額	722	140	374	42	95	
			決 算 額	172	43	275	46	138	
資本的 収支	収入	借入金	計 画 額		484	693	1,113	325	415
			予 算 額	922	484	246	1,198	832	
			決 算 額	1,023	1,186	497	14	988	
		その他 収入	計 画 額		12	10	11	10	10
			予 算 額	12	12	483	454	134	
			決 算 額	3	86	603	555	133	
	支出	建設 改良費	計 画 額		486	693	1,113	325	415
			予 算 額	407	486	771	1,697	942	
			決 算 額	532	1,190	788	607	1,142	
		借入 償還金	計 画 額		1,839	1,050	1,921	1,116	1,028
			予 算 額	2,717	1,839	1,503	2,092	793	
			決 算 額	1,439	1,820	2,166	1,925	744	
		その他 支出	計 画 額		5	5	5	5	5
			予 算 額	5	5	5	5	5	
			決 算 額	0	0	0	0	0	
差引			計 画 額		▲ 1,834	▲ 1,045	▲ 1,915	▲ 1,111	▲ 1,023
			予 算 額	▲ 2,195	▲ 1,834	▲ 1,550	▲ 2,142	▲ 774	
			決 算 額	▲ 945	▲ 1,738	▲ 3,807	▲ 1,967	▲ 765	

# 県民ゴルフ場事業

## 令和元(2019)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名：県民ゴルフ場事業

(単位：百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

			a)計画額	予算額	b)決算額	b-a	備 考
収益的 収 支	収 入	料金収入	18	19	19	1	・料金収入は、指定管理者からの納付金収入
		その他収入	0	2	1	1	
		(計)	18	21	20	2	
	支 出	人件費	0	0	0	0	・修繕費は、修繕箇所が増のため増 ・その他支出は、空調設備新設工事に伴う除却損計上のため増
		減価償却費	11	12	12	1	
		修繕費	1	4	3	2	
		その他支出	1	4	3	2	
	(計)		13	20	18	5	
	経 常 損 益			5	1	2	▲ 3
資本的 収 支	収 入	借入金	0	0	0	0	・その他収入は、空調設備新設工事のための電気事業繰入金を計上
		その他収入	0	33	32	32	
		(計)	0	33	32	32	
	支 出	建設改良費	4	33	32	28	・建設改良費は、空調設備新設工事を実施
		借入金償還金	14	11	11	▲ 3	
		その他支出	0	0	0	0	
		(計)	18	44	43	25	
	差 引			▲ 18	▲ 11	▲ 11	7

## 県民ゴルフ場事業 経営戦略達成状況

### 1 経営面に係る評価

	経営資本 営業 利益率	営業収支 比率	経常収支 比率	自己資本 構成比率	流動比率	借入金 残高	剰余金 (欠損金) 残高
	経営資本で、どの程度営業利益を上げたかで、高いほど収益性が良好	営業活動の能力で、高いほど収益性が良好	経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	計画値より下回れば良好	計画値より上回れば良好
	(単位: %)				(単位: 百万円)		
A: 計画値	/	138.5	138.5	/	/	268	▲ 1,140
B: 予算値	▲ 0.01	99.4	104.9	85.0	304.1	277	▲ 1,148
C: 決算値	0.08	108.6	113.4	85.0	287.2	277	▲ 1,146
達成率(%)	1000.0	78.4	81.9	100.0	94.4	96.6	99.5
達成度評価	A	C	C	A	B	B	B
目標達成又は未達成の要因等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修繕費の増等により経常利益が計画値を下回ったため、営業収支比率及び経常収支比率は計画値を下回ったが、100%以上となっている。</li> <li>・ 借入金の償還を繰り延べたため、借入金残高は計画値を上回った。</li> </ul>						

※当該年度の計画値(額)又は予算値(額)と決算概算値(額)を比較して、達成度を評価

※剰余金(欠損金)残高は、剰余金の処分は考慮しない。

### 2 事業面に係る評価

#### (1) 計画業務量に係る達成状況

	年間利用者数 (単位: 人)	目標達成又は未達成の要因等
A: 計画値	33,000	・ 指定管理者と連携して営業活動に努めた結果、過去2番目の年間利用者数となった。
予算値	33,000	
B: 決算値	36,989	
達成率(%)	113.2	
達成度評価	A	

※当該年度の計画値と決算概算値を比較して、達成度を評価

(2) 県民ゴルフ場事業の実施計画に係る取組実績等

項目	取組	令和元(2019)年度の取組実績
満足度の高いサービスの提供	○シニアや女性の利用促進	▶シニア&レディース杯の開催(毎月)
	○サービス向上やアメニティー面の充実	▶クレジットカードによるキャッシュレス決済の導入 ▶クラブハウス空調設備の更新
	○柔軟なプレイ料金の設定	▶季節に応じた夏季・冬季割引及び利用者に応じたジュニア料金、特割デー等を設定
	○コースコンディションの維持	▶グリーンキーパーの技術力向上を図りながら、良好なコースコンディションを維持
老朽化に対応した計画的な修	—	▶クラブハウス空調設備の更新 ▶コース内散水バルブの修繕 ▶カート道路の修繕
経基盤の強化	○業務改善の実施	▶シンプル&リーズナブルをコンセプトとした業務の展開
	○効率的な営業活動	▶テレビ番組、テレビ・ラジオコマーシャル、新聞広告、インターネット予約サイトを利用したPR活動の展開 ▶大会の誘致(栃木県知事盃予選会、栃木県ゴルフ連盟ジュニア月例)
県民の健康増進、余暇活動の充実への貢献	○県のイベント等と連動した取組	▶アフターDC特別料金の設定(6月)
	○定期的なコンペの開催	▶友の会月例会の開催(毎月第一日曜日) ▶水曜杯の開催(毎月第二水曜日) ▶シニア&レディース杯の開催(毎月)
	○利用者ニーズに対応したプレイスタイルの提供	▶フラットなコースを活かしたコース内カート乗り入れ

備 考	令和2(2020)年度の取組予定
	▶シニア&レディース杯の開催(毎月)
	▶新型コロナウイルス感染拡大防止対策の実施 (昼食バイキング形式の中止、スループレープランの設定、ロッカー・浴槽の使用中止 等)
	▶季節に応じた夏季・冬季割引及び利用者に応じたジュニア料金、特割デー等の設定
	▶グリーンキーパーの技術力向上を図りながら、良好なコースコンディションを維持
	▶クラブハウス屋根等の塗装修繕 ▶浄化槽の修繕 ▶照明器具の修繕
	▶シンプル&リーズナブルをコンセプトとした業務の展開
	▶テレビ番組、テレビ・ラジオコマーシャル、新聞広告、インターネット予約サイトを利用したPR活動の展開 ▶大会の誘致(栃木県社会人アマチュアゴルフ選手権大会、栃木県知事盃予選会)
	▶県民の日特別料金の設定
	▶友の会月例会の開催(毎月第一日曜日) ▶水曜杯の開催(毎月第二水曜日) ▶シニア&レディース杯の開催(毎月)
	▶フラットなコースを活かしたコース内カート乗り入れ

自己評価等						
<p>1 経営面に係る評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営資本営業利益率等の2指標がA評価、借入金残高等の3指標がB評価、営業収支比率等の2指標がC評価となった。</li> </ul> <p>2 事業面に係る評価</p> <p>(1) 計画業務量に係る達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去2番目の年間利用者数を記録し、A評価となった。</li> </ul> <p>(2) 実施計画に係る取組実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス向上のため、クレジットカードによるキャッシュレス決済を導入した。</li> <li>老朽化したクラブハウスの空調設備を更新した。</li> </ul>						達成度 評価
						B
評価委員会の評価等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>経常利益は計画値を下回っているものの、年間利用者数が過去2番目を記録したことは評価できる。</li> <li>キャッシュレス決済の導入や空調設備の改修など利便性の向上にも取り組んでいる。</li> </ul>						達成度 評価
						B
	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	
自己評価	A	B	B	B		
評価委員会の評価	A	B	B	B		

※当該年度の計画(予算)内容と取組実績等を比較して、達成度を評価

今後の取組課題・改善点等
<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい生活様式に対応したサービスや設備の改善に取り組む。</li> <li>クラブハウス等施設の老朽化に応じた計画的な改修に取り組む。</li> </ul>

○ 経営指標に係る達成状況(県民ゴルフ場事業)

(単位:%)

		平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
経営資本 営業 利益率	予 算 値		0.2	0.2	0.01	▲ 0.01	
	決 算 値	▲ 0.5	0.2	0.2	0.03	0.08	
	達成度評価		A	A	A	A	
営業収支 比率	計 画 値		118.2	146.2	146.2	138.5	120.0
	予 算 値		118.2	122.5	100.6	99.4	
	決 算 値	63.6	119.5	123.8	102.4	108.6	
	達成度評価		A	C	C	C	
経常収支 比率	計 画 値		119.1	146.2	146.2	138.5	120.0
	予 算 値		119.1	122.0	105.1	104.9	
	決 算 値	63.6	119.5	132.7	105.4	113.4	
	達成度評価		A	B	C	C	
自己資本 構成比率	予 算 値		83.1	83.7	84.2	85	
	決 算 値	82.4	83.1	83.7	84.2	85	
	達成度評価		A	A	A	A	
流動比率	予 算 値		154.9	222.2	239.4	304.1	
	決 算 値	174.9	211.5	243.3	253.6	287.2	
	達成度評価		A	A	A	B	

(単位:百万円)

借入金 残高	計 画 額		310	296	282	268	254
	予 算 額		310	298	287	277	
	決 算 額	324	310	299	288	277	
	達成度評価		A	B	B	B	
剰余金 (欠損金) 残高	計 画 額		▲ 1,157	▲ 1,151	▲ 1,145	▲ 1,140	▲ 1,137
	予 算 額		▲ 1,157	▲ 1,151	▲ 1,150	▲ 1,148	
	決 算 額	▲ 1,158	▲ 1,155	▲ 1,150	▲ 1,149	▲ 1,146	
	達成度評価		A	A	B	B	

○ 計画業務量に係る達成状況

(単位:人)

年間 利用者数	計 画 値		33,000	33,000	33,000	33,000	33,000
	予 算 値		33,000	33,000	33,000	33,000	
	実 績 値	29,084	35,512	36,348	37,341	36,989	
	達成度評価		A	A	A	A	

○ 収支の状況(県民ゴルフ場事業)

(単位:百万円)

				平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
収益的 収支	収入	料金 収入	計 画 額		18	19	19	18	18
			予 算 額	17	18	19	19	19	
			決 算 額	17	18	19	19	19	
		その他 収入	計 画 額		0	0	0	0	0
			予 算 額	1	0	1	1	2	
			決 算 額	0	0	2	1	1	
	支出	減価 償却費	計 画 額		11	11	11	11	11
			予 算 額	11	11	12	12	12	
			決 算 額	11	11	12	12	12	
		修繕費	計 画 額		3	1	1	1	3
			予 算 額	2	3	3	6	4	
			決 算 額	1	3	3	6	3	
		その他 支出	計 画 額		1	1	1	1	1
			予 算 額	17	1	1	1	4	
			決 算 額	15	1	1	1	3	
経常損益		計 画 額		3	6	6	5	3	
		予 算 額	▲ 12	3	4	1	1		
		決 算 額	▲ 10	3	5	1	2		
資本的 収支	収入	借入金	計 画 額		0	0	0	0	0
			予 算 額	0	0	0	0	0	
			決 算 額	0	0	0	0	0	
		その他 収入	計 画 額		0	0	0	0	0
			予 算 額	0	0	3	0	33	
			決 算 額	0	0	2	0	32	
	支出	建設 改良費	計 画 額		1	4	0	4	0
			予 算 額	0	1	6	0	33	
			決 算 額	0	0	5	0	32	
		借入 償還金	計 画 額		14	14	14	14	14
			予 算 額	2	14	12	11	11	
			決 算 額	2	14	11	11	11	
		その他 支出	計 画 額		0	0	0	0	0
			予 算 額	0	0	0	0	0	
			決 算 額	0	0	0	0	0	
差引		計 画 額		▲ 15	▲ 18	▲ 14	▲ 18	▲ 14	
		予 算 額	▲ 2	▲ 15	▲ 15	▲ 11	▲ 11		
		決 算 額	▲ 2	▲ 14	▲ 14	▲ 11	▲ 11		

# 賃貸ビル事業

## 令和元(2019)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名: 賃貸ビル事業

(単位: 百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

		a)計画額	予算額	b)決算額	b-a	備 考	
収益的 収 支	収 入	料金収入	89	89	85	▲ 4	・料金収入は、栃の実駐車場賃貸料収入の減による減
		その他収入	74	74	74	0	
		(計)	163	163	159	▲ 4	
	支 出	人件費	6	6	6	0	・その他支出は、主に光熱水費及び支払利息の減による減
		減価償却費	32	32	32	0	
		修繕費	4	0	0	▲ 4	
		その他支出	81	75	72	▲ 9	
		(計)	123	113	110	▲ 13	
	経 常 損 益		40	50	49	9	
	資本的 収 支	収 入	借入金	0	0	0	0
その他収入			0	0	0	0	
(計)			0	0	0	0	
支 出		建設改良費	0	0	0	0	
		借入金償還金	50	50	50	0	
		その他支出	0	0	0	0	
		(計)	50	50	50	0	
差 引		▲ 50	▲ 50	▲ 50	0		

## 賃貸ビル事業 経営戦略達成状況

### 1 経営面に係る評価

	経営資本 営業 利益率	営業収支 比率	経常収支 比率	自己資本 構成比率	流動比率	借入金 残高	剰余金 (欠損金) 残高
	経営資本で、どの程度営業利益を上げたかで、高いほど収益性が良好	営業活動の能力で、高いほど収益性が良好	経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	計画値より下回れば良好	計画値より上回れば良好
	(単位: %)				(単位: 百万円)		
A: 計画値	/	137.0	132.5	/	/	590	▲ 93
B: 予算値	4.8	144.0	144.1	36.9	720.0	589	▲ 41
C: 決算値	4.7	145.1	144.7	37.2	726.0	590	▲ 34
達成率(%)	97.9	105.9	109.2	100.8	100.8	100.0	163.4
達成度評価	B	A	A	A	A	A	A
目標達成又は未達成の要因等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支出の減等により経常利益が計画額を上回ったため、経常収支比率及び剰余金(欠損金)残高は計画値を上回った。</li> <li>・ 計画的な借入金償還により、借入金残高は計画値どおりであった。</li> </ul>						

※当該年度の計画値(額)又は予算値(額)と決算概算値(額)を比較して、達成度を評価

※剰余金(欠損金)残高は、剰余金の処分は考慮しない。

### 2 事業面に係る評価

#### (1) 計画業務量に係る達成状況

	入居率 (単位: %)	目標達成又は未達成の要因等
A: 計画値	100.0	・ 入居率100%を維持
予算値	100.0	
B: 決算値	100.0	
達成度評価	A	

※当該年度の計画値と決算概算値を比較して、達成度を評価

(2) 賃貸ビル事業の実施計画に係る取組実績等

項目	取組	令和元(2019)年度の実績
施設管理の効率化	○省エネ機器の導入	—
	○節電等省エネの取組の推進	▶入居団体に対し、節電・節水の協力依頼(6月)
老朽化に対応した計画的な改修	—	▶自動火災報知設備の修繕 ▶自動扉の修繕
経基盤の強化	—	▶入居率100%の確保

備 考	令和2(2020)年度の取組予定
・更新等においては、省エネ機器の導入を優先して検討	—
	▶入居団体に対し、節電・節水の協力依頼
	▶空調用監視装置の修繕 ▶ビルマネジメントシステム監視装置の修繕
	▶入居率100%の確保

自己評価等					
1 経営面に係る評価 ・ 営業収支比率等の6指標がA評価、経営資本営業利益率がB評価となった。					達成度 評価
2 事業面に係る評価 (1) 計画業務量に係る達成状況 ・ 入居率は、100%を維持し、A評価となった。					A
(2) 実施計画に係る取組実績等 ・ 老朽化した自動火災報知設備の修繕工事等を行った。					
評価委員会の評価等					
・入居率100%を維持し、計画値を上回る経常利益を確保したことは評価できる。 ・老朽化に対応した改修も実施している。					達成度 評価
					A
	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
自己評価	A	A	A	A	
評価委員会の評価	A	A	A	A	

※当該年度の計画(予算)内容と取組実績等を比較して、達成度を評価

今後の取組課題・改善点等
・経営の安定を継続できるよう、引き続き入居率100%を維持する。 ・中期の修繕計画を策定し、老朽化への対応だけでなく、施設の長寿命化や省エネ機器への更新に取り組む。

○ 経営指標に係る達成状況(賃貸ビル事業)

(単位:%)

		平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
経営資本 営業 利益率	予 算 値		2.0	2.0	2.0	4.8	
	決 算 値	2.4	2.6	2.8	2.7	4.7	
	達成度評価		A	A	A	B	
営業収支 比率	計 画 値		115.1	111.6	111.6	137.0	140.5
	予 算 値		115.1	111.5	114.7	144.0	
	決 算 値	120.7	121.9	122.6	121.7	145.1	
	達成度評価		A	A	A	A	
経常収支 比率	計 画 値		112.3	109.3	109.3	132.5	135.8
	予 算 値		112.3	114.8	114.7	144.1	
	決 算 値	117.7	120.7	123.3	122.1	144.7	
	達成度評価		A	A	A	A	
自己資本 構成比率	予 算 値		24.2	27.6	31.2	36.9	
	決 算 値	22.3	25.3	28.7	32.2	37.2	
	達成度評価		A	A	A	A	
流動比率	予 算 値		562.4	606.0	658.2	720.0	
	決 算 値	40.2	599.1	648.5	680.1	726.0	
	達成度評価		A	A	A	A	

(単位:百万円)

借入金 残高	計 画 額		740	690	640	590	540
	予 算 額		740	688	638	589	
	決 算 額	790	740	690	640	590	
	達成度評価		A	A	A	A	
剰余金 (欠損金) 残高	計 画 額		▲ 161	▲ 147	▲ 133	▲ 93	▲ 50
	予 算 額		▲ 161	▲ 131	▲ 110	▲ 41	
	決 算 額	▲ 171	▲ 143	▲ 112	▲ 83	▲ 34	
	達成度評価		A	A	A	A	

○ 計画業務量に係る達成状況

(単位:%)

入居率	計 画 値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	予 算 値		100.0	100.0	100.0	100.0	
	実 績 値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	達成度評価		A	A	A	A	

○ 収支の状況(賃貸ビル事業)

(単位:百万円)

				平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
収益的 収支	収入	料金 収入	計 画 額		89	89	89	89	89
			予 算 額	89	89	89	89	89	
			決 算 額	89	89	89	85		
		その他 収入	計 画 額		75	75	75	74	74
			予 算 額	75	75	75	75	74	
			決 算 額	75	75	75	74		
	支出	人件費	計 画 額		6	6	6	6	6
			予 算 額	7	6	6	6	6	
			決 算 額	6	5	5	6	6	
		減価 償却費	計 画 額		58	58	58	32	31
			予 算 額	58	58	59	59	32	
			決 算 額	58	59	58	59	32	
		修繕費	計 画 額		0	5	5	4	2
			予 算 額	2	0	1	0	0	
			決 算 額	1	0	0	0	0	
その他 支出		計 画 額		82	81	81	81	81	
		予 算 額	81	82	77	78	75		
		決 算 額	74	72	70	69	72		
経常損益		計 画 額		18	14	14	40	43	
		予 算 額	16	18	21	21	50		
		決 算 額	25	28	31	30	49		
資本的 収支	収入	借入金	計 画 額		750	0	0	0	0
			予 算 額	0	750	0	0	0	
			決 算 額	0	750	0	0	0	
		その他 収入	計 画 額		0	0	0	0	0
			予 算 額	0	0	0	0	0	
			決 算 額	0	0	0	0	0	
	支出	建設 改良費	計 画 額		1	0	0	0	3
			予 算 額	0	1	11	0	0	
			決 算 額	0	0	10	0	0	
		借入 償還金	計 画 額		800	50	50	50	50
			予 算 額	80	800	51	51	50	
			決 算 額	80	800	50	50	50	
		その他 支出	計 画 額		0	0	0	0	0
			予 算 額	0	0	0	0	0	
			決 算 額	0	0	0	0	0	
差引		計 画 額		▲ 51	▲ 50	▲ 50	▲ 50	▲ 53	
		予 算 額	▲ 80	▲ 51	▲ 62	▲ 51	▲ 50		
		決 算 額	▲ 80	▲ 50	▲ 60	▲ 50	▲ 50		

## 【経営指標の算出方法】

### ① 経営資本営業利益率

経営に充てた資本により、どれだけ営業利益を上げたかを表し、高いほど収益性が良い。

$$\text{(営業収益－営業費用)} \div \text{経営資本} \times 100$$

※経営資本＝{期首（総資産－建設仮勘定－投資）＋期末（総資産－建設仮勘定－投資）} ÷ 2

### ② 営業収支比率

経営活動の成否を判断する営業活動の能率を表し、高いほど収益性が良い。

$$\text{営業収益} \div \text{営業費用} \times 100$$

### ③ 経常収支比率

経常的に行われる営業活動と財務活動を含めた企業活動の効率性を表し、高いほど良い。

$$\text{(営業収益＋営業外収益)} \div \text{(営業費用＋営業外費用)} \times 100$$

### ④ 自己資本構成比率

総資本に対する自己資本の割合であり、この割合が高いほど財務基盤は安定している。

$$\text{(資本金＋剰余金＋繰延収益)} \div \text{(資本金＋剰余金＋繰延収益＋固定・流動負債)} \times 100$$

### ⑤ 流動比率

短期的（1年以内）な支払能力を表しており、高いほど財務基盤は安定している。

$$\text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$$

## 【達成度評価の方法】

### ① 経営指標及び計画業務量に係る達成度評価

- ・ 目標を上回った方が良い項目の達成率算式  
(決算値－計画値又は予算値) / 計画値又は予算値の絶対値 × 100 + 100
- ・ 目標を下回った方が良い項目の達成率算式  
(計画値又は予算値－決算値) / 計画値又は予算値の絶対値 × 100 + 100

区分	計画値又は予算値と決算値を比較（達成率を算出）して達成度を評価	
A	100%以上	計画値又は予算値（100%）以上
B	100%未満～90%以上	計画値又は予算値（100%）未満
C	90%未満	

### ② 実施計画に係る達成状況を含めた総合的な達成度評価

①の達成度及び実施計画に対する取組実績等の進捗を勘案して評価

区分	実施計画
A	進捗が計画を上回る
B	進捗が概ね計画通り
C	進捗が計画を下回る